



第2660地区 大阪淀川ロータリークラブ週報

OSAKA-YODOGAWA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

2015～2016年度クラブ・テーマ **Bright Future**

事務所 〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル30階

TEL : 06-6348-8437 FAX : 06-6456-2100

e-mail : office@osaka-yodogawa-rc.jp ホームページアドレス <http://osaka-yodogawa-rc.jp>

クラブ創立：1961(昭和36)年1月14日 例会日：毎週金曜日 12：30～13：30 例会場：ホテルグランヴィア大阪20階

2015～2016年度 会長：福井宏有 幹事：海家聖雄 会報委員長：村岸直子

本日の例会（第2653回）「孔雀の間」

- Rotary Song 「今日も楽し」
- 会長の時間

（例会終了後）

- 3クラブ合同例会(ガバナー公式訪問)8/28開催の打合せ
大阪淀川RC、大阪東淀ちゃやまちRC、新大阪RC各クラブ代表者

前回（7月24日）例会記録「孔雀の間」

- 司 会 (中津 S.A.A)
- Rotary Song 「われは海の子」
Song Leader (平田唱歌副委員長)
- 来客紹介 (小田友好副委員長)
国内visitor 1名 国内guest 2名
- 出席報告 (杉本(三)出席委員長)

出席会員数 18名	欠席会員数 9名
出席免除会員数 9名	会員総数 27名
7月10日出席率(M.U.含む)	88.88%
M.U.のなかった欠席者	3名
M.U.された方	林会員、橋上会員、川合会員、 村岸会員、西川会員、津本会員

◇会長の時間（福井会長）

7/23(木)18時から開催されたIM第6組「会長・幹事会(睦輪会)」に参加してまいりました。また、米山奨学委員会にも参加をさせて頂きました。米山記念奨学制度の成り立ちやこれまでの実績など、米山奨学事業へのご理解を一段と深めることができました。また、各クラブ共誇りを持って活動しておられます。

8月28日のガバナー訪問は初めて3クラブ(大阪淀川RC、大阪東淀ちゃやまちRC、新大阪RC)合同例会を当クラブがホストでホテルグランビア大阪にて開催することになったので、3クラブで打合せをし、スムーズな例会進行を目指したいと思います。80%以上の参加を呼びかけています。100%の全員出席でホストの責任を果たしたいものです。新大阪RCは体操から始まります。中国語の練習等盛りだくさんの内容です。会員数50名がロータリークラブとして活動し易いようです。私共も火の玉と成って頑張ります。よろしくお願いします。

ロータリークラブは政治と宗教はタブーですが、皆さん色々な工夫をされています。－終－

◇委員会報告

地区RAC委員会（末松副委員長）

7/12(日)地区献血活動で大阪府下4会場で一斉に協力を呼びかけました。300名の方が呼び掛けに応じて頂き、大きな成果を出しました。当クラブ会員の方も酷暑の中、応援に駆け付けて頂きました。心より御礼申し上げます。

本日の卓話

Song Lesson

講師 新名 星子 氏

次回の卓話予定

薬物乱用防止啓発について

大阪府健康医療部薬務課麻薬劇毒物グループ

総括主査 栗原 陽子 氏

幹事報告 (海家幹事)

7/31(金)例会終了後、8/28(金)に開催のガバナー公式訪問・3クラブ合同例会について大阪東淀ちゃやまちRC、新大阪RCの夫々の担当者にお集まり頂き、打合せを致します。当クラブSAA、友好委員会、出席委員会等ご都合の着く方はご参加ください。宜しく願い致します。

◇CLUB通信

★昨年度(2014-15年度)各委員会活動報告書提出のお願い

昨年度各委員会活動報告書を未提出の場合は至急、事務局までご提出くださいますようお願い致します。
提出期限:2015年7月24日(金)

★ガバナー公式訪問 2015年8月28日(金)12時30分～

3クラブ合同例会(大阪淀川RC、大阪東淀ちゃやまちRC、新大阪RC)

★2015年8月21日第一回淀マン会開催 回答期日8/7(金)

時間:18時～20時30分 会費:10,000円(当日ご持参ください)
場所:イタリアンレストラン「La Cuccagna ラッカーニャ」

★第1回友好ゴルフ開催 2015年9月20日(日)7時25分スタート

場所:瀬田ゴルフクラブ 北コース
競技:18ホールダブルペリア方式
会費:10,000円(プレー費は各自でご精算下さい。)
申込期日:2015年8月28日(金)

◇ニコニコ箱の報告 (山口S. A. A.)

※氏名の後の会員を省略致します。

- 福井宏有 来週、新大阪の会長が来られます。里見様、田窪様よろしくお願い致します。
- 松井義明 本日は2名の新会員が来られました。いっしょにませ。賑やかになります。よろしくお願い致します。
- 西川正一 7/17(金)台風11号が倉敷に上陸したその時分に120名の社員旅行で新幹線にて鹿児島に向かっていた。指宿、屋久島での2泊3日は天気も良くしっかり楽しみました。
- 小田晃三 無事に引越が終わりました。まだまだ、段ボール箱、整理が必要です。
- 中津敏子 田窪様、里見様、ようこそお越し下さいました。ロータリーをお楽しみください。
- 海家聖雄 田窪さん、里見さんご入会有難うございます。よろしくお願い致します。

本日の合計(ニコニコ) 20,000円

累計(期初～H.27.7.24) 134,000円

2015年7月24日例会卓話 DVD放映

2015-16国際ROTARY会長スピーチ

世界へのプレゼントになろう

K.R.ラビンドラン氏



「ワールドクラス」のガバナーの皆さん、この素晴らしい組織のリーダーとなる準備を整えるために、私たちはここに集まりました。皆さんと過ごすこのひとは、私にとって喜びであるだけでなく、おそらく人生で最も大切なときとなるでしょう。人生には、物事を一変させるような、極めて重要な瞬間というものがあります。その後のあらゆる経験は、この瞬間を基軸として測られることになります。自分の人生を形づくった出来事を振り返るとき、私たちは、その出来事が起こる「前」と「後」に分けて考えます。「あのときにすべてが変わった」と言えるような瞬間です。今晚ここにおられる皆さんにとって、まさに今がそのときだと思えます。自宅、職場、家庭、クラブなど、世界はいつもと変わりなく存在しています。しかし、ここサンディエゴで、私たちの世界は変わりつつあります。私たちのビジョンが形を成し、理解、大志、意欲が広がりにつつあります。今週、ロータリーという組織の幅と深さ、そして、それを取り巻く複雑さをご理

これまで、ロータリーを批判的に論じることがあったかもしれませんが、今、私たちには、ロータリーにおいて改めるべき点を正そうと努める特権、そして重要な責任があります。目の前に広大な地平線が広がっていますが、限りがないわけではありません。私たちがリーダーでいられるのは1年間だけです。7月からの366日間、一日一日が限られた貴重な時間であり、この時間は二度と訪れません。時間が限られていると知れば、その時間は一層貴重なものとなります。何かを成し遂げ、創造し、「自分は大切な存在としてここにいた」という証を残したいという気持ちが、ますます強まります。だからこそ、多くの方が、ロータリー役員としての1年を、その証を残す一生に一度のチャンスだと考えるのです。しかし、私はこう申し上げます。もし本当に変化をもたらしたいなら、自分の存在の証をロータリーに残すのではなく、ロータリーの活動を一番に優先して、ロータリーの存在の証を

私たちの命は永遠ではなく、人生にはいつか終わりが訪れます。しかし、そのことを忘れがちです。インドの詩人、タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりをしていて、肝心の歌を歌わずに」毎日を過ごしています。毎時間、毎日、毎年が、自分に与えられたものであり、貴重で、あっという間になくなり、かけがえのない時間であると、私たちはどうしたら気づくでしょうか。生まれると同時に、私たちはいろいろなものを授かります。最初に授かるのは、命です。そして、愛、思いやり、家族を授かり、教育、健康を授かり、学びを通じて才能と能力を授かります。人生において、親、友人、伴侶、子ども、生計手段、物質的な豊かさなどは、どれも私たちに授けられたプレゼントです。ありがたさに感謝の気持ちでいっぱいになることもあるでしょう。私は、数カ月前に初孫が生まれたとき、そして、皆さんと過ごす今晚も、そのような気持ちです。今皆さんはこうお思いでしょう。このようなありがたいプレゼントに、一体いくつ恵まれてきたのだろうか、と。私は自分に、そして皆さんに、次のように問います。どうしたらその恩返しができるでしょうか？人生の終わりを迎えるとき、与えられたものを無駄にし、後世に何も残さなかったと悟るのでしょうか。それとも、人生を振り返り、この世を去るときに自分の善き行いが後世に生き続けると知るのでしょくか。人生は1度しかありません。そして、2015-16年度のチャンスも1度しかありません。その時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。

私たちの第一の課題、そして最も重要な課題は、ポリオの撲滅です。25年以上前に私たちがポリオ撲滅の誓いを立てたとき、125カ国にポリオが常在し、毎日1,000人以上の子どもがポリオによる麻痺(まひ)障害を患っていました。現在、ポリオ常在国は3カ国、そして昨年のポリオ症例数はわずかに333件となりました。そのほとんどは、パキスタン一国から報告されたものです。この国で私たちが闘う相手は、ポリオウイルスだけでなく、無知、残忍さ、抑圧の力です。私たちの課題は、ワクチンを子どもの口に届けるだけでなく、殺戮者たちから予防接種従事者を守ることであります。タリバンが、幼子の予防接種に向かう女性たちをオートバイから銃撃し、罪のない子どもたちを教室で殺害するという残忍な手段に訴える中、パキスタン政府と市民は、ロータリーとともに、ポリオのない未来を実現するために力を尽くしています。このような事態になるとは、25年前には誰も想像できませんでした。しかし、25年分の活動、そして何百万という人たちの信念、献身、信頼が、卑劣な敵によっておとしめられることはありません。私たちは闘い続け、必ずや勝利します。なぜなら、私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束したからです。私たちは必ずや、このプレゼントを子どもたちに贈ります。

ロータリーは膨大な可能性を秘めています。しかし、多くのクラブや地区の現実を目を向けると、ロータリーのあるべき姿が映し出されていません。当組織を形づくった基本に立ち返る

方法を見つける必要があります。それは、人生のあらゆる場での高い倫理基準、そして、各クラブに会員の多様性をもたらす職業分類です。これらは、会員増強の足を引っばる障害にすぎないと見られることがあまりに多いのが現実です。しかし、これらはロータリーの成功に欠かせない要素であり、なおざりにすれば、自らの存在を危うくすることになるでしょう。一度決めたことをやり抜くための豊富な知識とスキルを備えた、誠実な会員がいるクラブこそ、真の「プレゼント」となるのです。しかし、ご承知とは思いますが、今日のロータリーを一世紀前と同じように語りながら、それと同時にロータリーの成長を期待することはできません。私たちは今、新しい現実に生きています。ブランディングの新たな取り組みは、確かに必要なことなのです。世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージをあらためて明確に打ち出す必要があります。時に、リーダーとしての私たちのロータリーの見方と、クラブのロータリアンの見方との間に隔たりがあることがあります。ロータリー財団への寄付をもっと奨励し、もっと多くの善いことを行いたいと考える一方で、しつこくお願いしたり、あまりに高額な寄付をお願いすれば、会員は離れてしまいます。若い会員を迎え入れたいと考える一方で、ロータリーの基幹を成す年配の会員を遠ざけたり、まだ大いに貢献できる、最近退職した会員たちを見遇すべきではありません。クラブのレベルを超えた活動に参加し、ロータリーのネットワークにもっとかかわるよう会員に奨励したいと考える一方で、時間や寄付を要求しすぎて負担をかけたくはありません。

これらの課題を解決できる簡単な答えはありません。しかし、何とかして答えを見つける必要があります。それを見つけるのは、ほかでもない私たちです。皆さんはロータリーの現場を知る方々です。クラブが何を必要とするか、クラブに何ができるかを、皆さんは心得ておられます。ロータリーをまとめ、その可能性を引き出し、みんなで一緒に前進できるよう導くのは、皆さんです。今後私は、皆さんに多くのことをお願いしていきます。信念、情熱、傾倒、思いやりを捧げるよう、お願いいたします。これらだけでなく、もっともっと多くを捧げてください。なぜなら、次年度には、自らを世界へのプレゼントとして捧げていただきたいからです。

ロータリーで私達は、善き行いを目指しています。人類に大きなプレゼントを残した歴史上の偉大な人々を尊敬し、称えます。大勢の人に人間の尊厳を与えたアブラハム・リンカーン。疎外された人たちに慈悲の心を捧げたマザー・テレサ。虐げられた人たちに平和的な変化を与えたマハトマ・ガンジー。彼らは皆、人びとのために人生を捧げ、自らが世界へのプレゼントとなって、自分自身を捧げました。もちろん、私達は彼らと同じではありませんし、同じ人生を歩みたいとは望んでいないかもしれません。しかし、これら歴史上の人物から刺激を受け、模範とすることはできます。この人生において、自分が大切にす諸々の責任をおろそかにせずに、(次ページに続く)

どうしたら自らを世界へのプレゼントとして捧げられるだろうか、と。それは可能なことであり、私たちはそれを実行します。なぜなら、私たちは一体となってこのチャレンジに挑むからです。「世界へのプレゼントになろう」。これが、私から皆さんに願っていることであり、私たちを導いていくテーマです。

ロータリーで私達はリソースを捧げますが、何よりも大切なことは、自分自身を捧げることです。ただ「手渡す」のと「手を差し伸べる」のには大きな違いがあります。特に、思いやりの心をもった温かい手であればなおさらです。幼い頃、思いやりと愛のこもったささやかなプレゼントは気持ちのこもっていない高価なプレゼントよりも貴重であると、誰もが子ども心にも理解していたと思います。ここサンディエゴでも、人の為に何かするときには、全身全霊を込めてはじめて価値があるということを、私達は理解しています。だからこそ、皆さんにお願いします。「世界へのプレゼントになろう」、と。

このテーマを考えているとき、ヒンドゥー教を通じて私が学んだある教訓を思い出しました。ここで、スダマの物語を皆さんにご紹介したいと思います。非常に貧しい少年スダマは、神の化身として王家の一族に生まれたクリシュナの親友でした。2人の少年は、成長するにつれて少しずつ疎遠になり、クリシュナが軍を率いる名高き王となった一方で、村人スダマはつつましく、どちらかというと貧しい暮らしをしていました。何年も経った頃、スダマは生活に困り、子どもに食事を与える十分なお金さえなくなっていました。妻は、幼い頃に親しくしていたクリシュナに助けを求めるよう提案しました。最初は躊躇していたスダマも結局同意し、手ぶらでは申し訳ないと、いくらかの米を布に包んで持っていきました。スダマを見たクリシュナは大喜びし、親切に愛情をもって迎えました。その高貴な生活ぶりに圧倒されたスダマは、恥ずかしさのあまり持参した米を差し出すことができません。クリシュナは「何を隠しているのか」と尋ね、布を開いて中の米を見ると、喜んでこれを食べました。数時間後、変わらぬ友情に感激したスダマは、助けをお願いすることをすっかり忘れてクリシュナの元を去りました。帰り道、スダマは、当初

の目的を忘れていたことに気づき、子どもたちがまだ腹を空かせていることを思い出しました。しかし、自宅に着くと、そこにあったのは、彼が出たときと同じ小屋ではなく、美しい家でした。家の前にはきれいな服を着た家族が立っています。十分な食事を済ませた家族は、スダマを出迎えようと待っていたのです。これはなぜでしょうか？クリシュナは、スダマが自分のためにプレゼントをもってきてくれたこと、ありったけの米を自分にくれたことが分かっていたからです。そのお返しに、クリシュナは、スダマが必要とするすべてを与えたのです。この逸話の教訓は、受け手にとって大切なのは、その物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ込められているか、ということです。

私達には選択肢があります。授けられたものを自分の元だけにとどめるか、またはそれを生かして自らが「世界へのプレゼント」となるか、です。私からの皆さんへのお願いは、授けられたものを、入念に、賢明に、そして惜しみなく生かすことです。授けられたものを生かして、今は家で座っているだけの少女が、誇らしげに歩き、来年には学校に通えるようにしてあげることです。灌漑設備のない不毛な土地が、来春には農作物で青々となるようにすることです。貧困の輪を断ち切って、貧しい人たちを救い、社会の底辺に生きる人たちに希望というプレゼントを与えることです。ここにおられる皆さんは、多くを授けられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、「世界へのプレゼント」となることのできる1年です。可能性を現実にするために皆さんに与えられた時間は1年です。地区のクラブを導き、人びとの人生を変えるために与えられた時間は1年です。永遠に続くモニュメントを築くために与えられた時間は1年です。このモニュメントは、御影石や大理石に彫られるのではなく、今後何世代にもわたって人々の人生と心に刻まれるものです。この機会は二度と訪れるません。今を逃さずに生かそうではありませんか。世界へのプレゼントになりましょう。ご清聴ありがとうございました。— 終 —

◇国際ロータリーニュース 来る8月3日、2017-18年度国際ロータリー会長を選ぶための会長指名委員会開催委員会のメンバーは次のとおりです(敬称略)。

- | | |
|---|--|
| 第1ゾーン黒田正宏(青森県、八戸南RC) | 第3ゾーン渡辺好政(岡山県、児島RC) |
| 第5ゾーンP.C. Thomas(インド、Nilgiris WestRC) | 第7ゾーンStuart B. Heal(ニュージーランド、Cromwell RC) |
| 第9ゾーンHee-Byung Chae(韓国、Seoul West RC) | 第11ゾーンSerge Gouteyron(フランス、Valenciennes-Denain aerodrome RC) |
| 第13ゾーンPaul Knyff(オランダ、Weesp [Vechtstreek-Noord] RC) | 第15ゾーンAnn-Britt Åsebol(スウェーデン、Falun-Kopparvågen RC) |
| 第17ゾーンDavid D. Morgan(ウェールズ、Porthcawl RC) | 第19ゾーンGideon M. Peiper(Ramat Hasharon RC) |
| 第21ゾーンJosé Alfredo Sepúlveda(メキシコ、Pachuca Plata RC) | 第23ゾーンAlceu Antimo Vezozzo(ブラジル、Curitiba RC) |
| 代理: Carlos Enrique Speroni(アルゼンチン、Temperley RC) | 第25ゾーンJohn T. Blount(米国、Sebastopol RC) |
| 第27ゾーンC. Grant Wilkins(米国、Denver RC) | 第29ゾーンMichael D. McCullough(米国、Trenton RC) |
| 代理: Michael J. Johns(米国、Cleveland RC) | 第31ゾーンFrederick W. Hahn Jr.(米国、Independence RC) |

◇国際ロータリーニュース

ナイジェリアでの快挙：野生型ポリオの無発生期間が1年を経過

本日7月24日、野生型ポリオウイルスが常在するアフリカ唯一の国ナイジェリアで、最近の発症例が報告されてから丸1年が経過しました。「ポリオのないナイジェリア」に向けた大きな前進です。同国カノ州で最近の野生型ポリオの発症が報告されたのは昨年7月24日のこと。ここまます数週間、無発生の状態が続けば、世界保健機関(WHO)によってナイジェリアがポリオ常在国内(現在はナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3カ国)から除外されることが期待されます。また、8月11日にはアフリカ全体で野生型ポリオの無発生期間が1年を迎え、それからさらに2年間の無発生期間が継続されれば、アフリカ全体での「ポリオフリー」が認定されることになります。K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長は、「すべてのロータリアンが誇りとすべき歴史的な前進」と今回の快挙を称えます。「アフリカで今、ポリオフリーへの道が開けようとしています。但し、ポリオフリーの世界はまだ実現されていないことを忘れてはなりません」今回の達成はナイジェリア内外からの資金援助と、何千人もの保健従事者による精力的な活動が実を結んだものです。また、治安の悪さから、以前は予防接種活動ができなかった北部地域でも予防接種を可能にする新しい方策が功を奏しました。ナイジェリアでのポリオ撲滅活動で中心的な役割を担っているトゥンジ・フンショさんは、今回の成功における一番の立役者はロータリーだと話します。「ロータリー会員からの働きかけが政治リダーの心を動かしました。多くの資金と人材を提供する政府の対応は、州レベル、地方レベルにも浸透しています」事実、ナイジェリア国内から寄せられる撲滅活動への資金援助は、2012年から毎年増加しており、今年だけでも8,000万ドル(約100億円*)が投じられました。*円換算は2015年7月のRI為替レートによる政府に加え、宗教リーダーからの後押しもありました。フンショさんは、予防接種に理解を示し、地域社会の家族に協力を呼びかけてくれた宗教リーダーにも感謝しています。

**さらなる活動の強化を**

今回の達成がポリオのない世界に向けた大きな節目である一方、専門家の間では、今後2年間もポリオの状況を注視し、再発防止に力を入れていく必要があることが指摘されています。フンショさんは、ロータリーを含む世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)の主要パートナーが協力し、活動が困難な地域での予防接種とサーベイランス(監視活動)を強化しなければならないと話します。「野生型ポリオウイルスが常在する地域、特にアフガニスタンとパキスタンから、長年ポリオが発症していない地域にウイルスが流入する危険がある」とフンショさん。例として、2013年12月、1999年を最後に野生型ポリオの発症が起きていなかったシリアでポリオが突発的に流行し、35件もの発症が報告されました。「だからこそ、ナイジェリア国内の予防接種レベルを最低でも90%に保つことが重要」だと、フンショさんは語気を強めます。

ロータリーは6月、ナイジェリアのための約1,000万ドル(約12億円)を含めた1,900万ドル(約24億円)の補助金を、アフリカでのポリオ撲滅に投じると発表しました。ロータリーは、1985年に子どもたちのための世界初のポリオ予防接種キャンペーン「ポリオプラス」を開始して以来、14億米ドル(約1,736億円)を寄付しています。

「私たちは大きな前進を遂げ、“ポリオのないナイジェリア”の実現まであと少しのところになりました。しかし、これでよしとしてはなりません」とフンショさん。「WHOによるポリオフリーの認定を受けるまで、それこそ死にもの狂いで取り組まなければな

大阪-淀川RAC NEWS

7月度第1例会(第719回)報告

日 時 2015年7月1日(日) 19:00~20:300

場 所 大阪中央公会堂

テーマ 所信表明・会長 高橋正洋

出席者 RAC8名(入会者2名)

大阪淀川IRC2名(福井会長、西崎青少年奉仕委員長)

新大阪RC菅本氏

左から新入会員:竹内さん、陳君、高橋会長



7月度第2例会(第720回)報告

日 時 2015年7月15日(水)19:00~20:300

場 所 大阪中央公会堂

テーマ 台北東海RAC例会に出席して<報告>

出席者 RAC4名、RACMU 1名

大阪淀川IRC2名(福井会長、西崎青少年奉仕委員長)

新大阪RC菅本氏

内 容

先月末に行われた台湾の台北東海RACへの訪問の報告
プロジェクターを用いて画面を出し、そこに台北東海RACの
最終例会の様子とそこでの私たち大阪淀川IRCの交流の
様子を映した。またこれからの関係の発展に向けて自分達
から何を発信できるかを考え、台湾の文化についても少し
触れる機会をもうけた。



本日のロータリーソング

「今日も楽し」

一、きょうもたのしい われらのつどい

奉仕の理想に 心はもえて

親しみむつむ ロータリアン

お、ロータリー ロータリー

二、めぐる歯車 世界をむすび

とわにかがやけ 平和のひかり

理想はたかし ロータリアン

お、ロータリー ロータリー

ロータリー 四つのテスト

われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合は、これに照合してから。

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

